



令和2年度

FD 活動・研究報告書



岡崎女子大学
岡崎女子短期大学

令和2年度 FD活動・研究報告書

1. はじめに		ページ
1-1	令和2年度の総括	2
2. 大学・短大FD委員会関係		
2-1	大学・短大FD委員会実施一覧	7
3. 授業アンケート関係		
3-1	「学生による授業アンケート」(後期)の実施について	10
3-2	授業アンケート質問項目(後期)	11
3-3	授業アンケート実施一覧(後期)	14
3-4	授業アンケート実施結果(大学後期全科目)	20
3-5	授業アンケート実施結果(短大後期全科目)	21
3-6	授業アンケートの結果報告及び自己点検報告書の提出について(後期)	25
3-7	授業アンケートによる自己点検報告書(後期)	26
4. FD研修会関係		
4-1	FD研修会(第1回)について	28
4-2	FD研修会(第2回)について	29
4-3	FD研修会(第3回)について	30
5. 授業参観関係		
5-1	授業参観の実施について	32
5-2	授業参観コメント用紙	34
5-3	「授業参観」実施結果	36
6. ICT利用促進関係		
6-1	ICT利用促進関係	37
7. おわりに		
7-1	FD活動の次年度の課題について	38

令和2年度の総括

令和2年度 FD 委員長 白垣 潤

本学園では令和元（2019）年度に令和2（2020）年度～令和6（2024）年度の中期計画を策定し大学のビジョンを明確にしている。基本的方向を指し示すビジョンを掲げることで、全学一致体制を創り出していく計画である。また、そのために「建学の精神」や「大学の理念（建学の精神が意味するもの）」、「大学の教育目的（大学学則第1章第1条）」、を踏まえて創られた「大学が養成する人材像」、「三つの方針（卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）、教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）、入学者受け入れの方針（アドミッション・ポリシー））をもとにマスタープラン」の策定、マスタープランを達成するための「アクションプラン」の立案という構造に整理している。

本学が目指す女子教育とは、深い人間理解に基づく他者への共感力を持ちつつ、女性をめぐる現代の社会的課題に向き合い、女性の尊厳ある生き方を探求することのできる、品格ある女性の育成である。

建学の精神や大学の使命・目的は大学の根幹となる理念であり、軽々に変化しない性質のものである。しかし、時代の変化や社会のニーズを考慮しつつ、建学の精神や大学の教育目的、大学が養成する人材像や学部の教育目的・教育目標についても柔軟に見直す姿勢が求められ、短大では令和元年度に改訂している。特に、学部の人材養成に変化があった場合などは学部の教育目的や教育目標の修正が必須となる。大学が平成28(2016)年度に小学校教職課程の設置申請を行った際には、子ども教育学部の教育目的に関して、「子ども教育学部は、現代人としての教養と教育保育分野の豊かな専門知識・技能をもち、子どもや保護者への共感力をもつと共に、高い使命感と倫理観に基づいて現代社会のニーズに応じてゆける小学校教諭、幼稚園教諭及び保育士の養成を目的とする。」として新たに「小学校教諭」の文言を付加する改訂を行い、学部の教育理念における変化に対応している。さらには、女子教育・専門職業教育に加えて、本学の専門性を活かした地域貢献の理念をより一層明確化し、実践している。

その中で FD 委員会は、効果的かつ実質的な教育・研究活動及び地域貢献活動に繋げるために、IR 推進室で蒐集された教育等に関する様々なデータを分析し、教育・研究内容及び教育方法の改善・向上を図ることを推進している。

データの収集は全学レベル・学科レベル・科目レベルの各段階から、以下に示す評価項目を用いて収集し、多面的・総合的に評価している。

- (1) 全学レベル…ジェネリックスキルテスト（アセスメントテスト）、就職率、学修状況アンケート、学生満足度調査
- (2) 学科レベル（教育課程レベル）…統一テスト、ジェネリックスキルテスト（アセスメント

テスト)、GPA、免許・資格の取得状況、学修の記録(履修カルテ)、卒業研究、就職率(専門職)、卒業生アンケート

(3) 科目レベル…成績評価、学生による授業アンケート、授業参観(ピアレビュー)

全学レベルのアセスメント結果に関しては、FD委員会、IR推進室、学科等からのデータや分析内容を受け、学長が学長室会議、大学・短期大学運営会議において共有し、意見を求め、必要に応じて改善策の検討実施を学科等に指示している。また、基本的な集計データをホームページに公開するとともに、折々に、大学として、学生、保護者、就職先、高校、連携市等のステークホルダーへの適切な情報伝達を行っている。

本学では、IR推進室及びFD委員会を設置し、協働して、「学修状況アンケート」の実施や「学修の記録(履修カルテ)」による学修状況の把握とともに、教育等に関する様々なデータを分析している。FD委員会は、大学と短大の合同組織であり、自己点検・評価委員会、教務委員会、その他関係部署との連携のもと、全学で教育目的の達成のために情報の共有や業務の連携を図っている。FD委員会では、教育・研究内容及び教育方法の改善・向上を図るため、平成25(2013)年度より、学内外の講師による「研修会」を行っており、令和2(2020)年度は、コロナ禍でオンライン授業となったこと、テレワークとなったこともあり、第1回FD研修会はオンライン授業で行うための動画を視聴しノウハウを学ぶこととなった。①対面授業以外の授業展開手法～はじめに(12:31)、②対面授業以外の授業展開手法～オフライン教材呈示・課題提出型のやり方(14:25)、③対面授業以外の授業展開手法～自作の動画教材の提供・レポート提出型(15:12)の合計42:08の動画全てを視聴し、レポートを提出することで研修とした。期間は令和2(2020)年4月15日(水)から令和3(2021)年1月末までの随時とした。第2回FD研修会は9月16日(水)に「学長裁量経費による令和元年度「教育改革活動助成」成果報告会」を行い、第3回FD研修会は2月25日(木)に「特別な支援を必要とする学生の修学支援の現状と課題」と題して3回の研修を行った。

また、「授業参観(ピアレビュー)」「学生による授業アンケート」の実施とともに各教員が自己点検・評価することで、教育研究活動を一層向上させるよう努めている。

学科レベルのアセスメント結果については、大学では学部長・学科長が、短大では学科長中心となり、主に学科での振り返りを行っている。例えば、卒業年次の3月時点での学生生活充実度が7月時点と比較してかなり増加した背景に、就職先の決定や卒業研究の達成感などの影響がみられること、課題量の見直しが学修の充実化につながったことなどが挙げられた。

「学修の記録」に関しては、半期毎の成績推移や専門的学修の到達度を学生自身が記録して自己確認を行い、次年度の学修や卒業後の目標設定に活用している。これらの結果についてはIR推進室の集計結果を受け、学科において振り返りを行うとともに、評価指標の見直しも検討してい

る。学生による授業アンケートで明らかになった課題については、FD委員会を中心に、解決に向けた継続的な検証を行い、研修会の企画等に反映させている。

卒業単位の取得者数（卒業予定者数）、資格の取得者数、就職率と内訳、公務員採用者数、退学者数、GPA などに関しては、各部署からのデータを受けて、学科での共有を行っている。これらの達成度については肯定的に受けとめており、学修成果を示す情報として、学生・保護者・高校などへの伝達に努めている。また、大学では教員による卒業生訪問と卒業生アンケートを行っており、卒業生の勤務状況や現在の心境、大学時代の学びの成果などを把握し、卒業生への支援を心掛けるとともに、学科内で情報を共有して、卒業生の実感を在学生に伝えつつ、指導法の改善に繋いでいる。概ね大学で学んだことが活かされていたが、大学としてはネガティブ回答の分析や具体的な事例の分析などを通して改善していきたいと考えている。

科目レベルについては、教員は、成績分布や学生による授業アンケートの結果を通して、担当授業の振り返りを行っている。成績分布により学生の学修達成度を理解し、次年度に向けた指導法の改善を計画する。また、授業アンケートの結果から授業の「優れていた点」や「改善すべき点」を確認し、「到達目標を学生が達成できたか」についての自己点検を行い、FD委員会を通して学長に報告書を提出している。例年、前期、後期ともに授業の13回～15回の期間中に、すべての科目を対象として「学生による授業アンケート」を実施しているが、令和2年度はコロナウイルス感染症の影響により、後期のみ実施した。また、実施時期も授業の13回～15回の期間中ではなく、令和3年1月に実施した。アンケートは、遠隔授業の影響も鑑み、大学は22項目、短大は21項目の質問（5段階のリッカーとスケール）で実施した。専任教員の担当授業におけるアンケート実施度は高く、全員が実施している。学期の終了後、集計結果データが授業担当教員に返却され、各教員が「授業アンケートによる自己点検報告書」を作成し、教務課に提出する。当報告書には、①授業アンケートの結果を受けて工夫を試みた点②授業アンケートの結果から優れていた点③授業アンケートの結果から改善すべき点を記入事項とし、各教員が教育目的の達成状況を自己点検するとともに、改善点については、当該年度や次年度の授業において学生へのフィードバックを行い、効果的なアクティブラーニングの実現を視野に、教授法の改善に努めている。学生アンケートの結果と担当教員による自己点検報告書は図書館学修相談室に置かれて、学生や教職員に公開されている。

授業アンケートにより特に高い評価を受けた教員に対しては、学長より「エクセレント・ティーチャー賞」が授与され、評価の低い教員については学長による面談指導が行われる。また「エクセレント・ティーチャー賞」を受けた教員の授業を他の教員が積極的に参観することをFD委員会が推奨している。

授業参観（ピアレビュー）も平成25(2013)年度から実施されている。実施期間は、当初12月中

の1か月間とし任意実施であったが、平成26(2014)年度から専任・非常勤を含めて実施し、専任教員については全員実施とし強化している。しかしながら、授業参観に参加する非常勤講師は少ないのが現状である。平成29(2017)年度からは、実施期間を通年とし、専任教員は継続的に行うことにより、日常的な授業における内容・方法について教職員ほかによる情報交換を行い、授業改善に資することを目的として実施する(ピアレビュー)。また、授業参観は、教育内容の充実や教員としての教育力向上を目指すねらいもある。

実施者は当初、事前に「授業参観実施届」を教務課に提出し、受講する学生にも事前に伝達することとしていたが、平成30(2018)年度からこの手続きを簡略化し、参観者が、実施者に参観希望を事前に連絡し、参観後は「授業参観コメント用紙」に意見や感想等を記入し、実施者は、参観者から上記のコメント用紙を受け取り、その内容をふまえ自己評価を記述し、教務課に提出する。このような取り組みを通して、各教員が自らの授業を公開し、中立的・客観的にピアレビューを受けることにより、授業運営の改善に活かしている。

また、FD委員会において、実施状況や結果が報告され、大学全体としての課題や改善点について検討し、FD研修会や授業改善のための勉強会のテーマとしている。

2. 大学・短大FD委員会関係

令和2年度は計12回委員会を開催した。

実施日及び議題を次頁に掲載する。

令和2年度 大学・短大FD委員会実施一覧

	実施日 出席人数	主な議題
第1回	R2.4.8 4人	<p>【検討事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今年度の方針について ・今年度の予算について ・授業参観の実施について ・委員会ワーキンググループの実施について <p>①授業アンケート ②FD研修会 ③ICT利用促進</p> <p>【報告事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・規程について
第2回	R2.5.9 ~5.15 (メールによる オンライン会議) 3人	<p>【検討事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学長裁量経費研究発表会をFD主催にする件について ・ループリックについて ・FD研修会について ・学生による授業アンケートについて
第3回	R2.6.3 ~6.8 (メールによる オンライン会議) 3人	<p>【確認事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学生による授業アンケートの実施について ・FD活動報告書
第4回	R2.7.8 4人	<p>【検討事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学生による授業アンケートの実施について ・FD研修会の実施について <p>【確認事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ループリックの実施について
第5回	R2.8.1 ~8.10 (メールによる オンライン会議) 4人	<p>【検討事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・FD研修会について ・学生による授業アンケートの非実施について
第6回	R2.9.9 4人	<p>【確認事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・FD研修会について ・授業参観について ・視察旅行について

令和2年度 大学・短大FD委員会実施一覧

	実施日 出席人数	主な議題
第7回	R2.10.8 ~10.14 (メールによる オンライン会議) 4人	【確認事項】 ・FD研修会について ・学生による授業アンケートについて ・視察旅行の経費について
第8回	R2.11.11 4人	【検討事項】 ・令和3年度事業計画・予算について 【確認事項】 ・学生による授業アンケートについて ・授業参観について ・第1回FD研修会の受講について ・科目ルーブリックの実施について
第9回	R2.12.9 4人	【確認事項】 ・FD関連の実施・提出項目の進捗状況について ・後期学生による授業アンケートについて
第10回	R3.1.13 4人	【確認事項】 ・第3回FD研修課について ・後期学生による授業アンケートについて
第11回	R3.2.10 4人	【確認事項】 ・第3回FD研修会について ・学生による授業アンケートの実施について ・第1回FD研修会・授業参観・ルーブリックの実施状況について
第12回	R3.3.5~3.9 (メールによる オンライン会議) 4人	【報告事項】 ・第3回FD研修会について ・第1回FD研修会・授業参観・ルーブリックの実施状況について

3. 授業アンケート関係

令和2年度は後期に授業アンケートを実施した。

実施した内容とその結果を示す資料を次頁以降に掲載する。

令和2年度前期は新型コロナウイルス感染症の影響により、授業アンケートは実施しなかった。

令和2年12月22日

岡崎女子大学

岡崎女子短期大学 授業担当教員各位

岡崎女子大学

岡崎女子短期大学

学長 林 陽子

「学生による授業アンケート」(後期)の実施について

先生方におかれましては、日頃より本学学生の学力向上のためにご尽力いただき、誠にありがとうございます。

今回、アンケート結果の授業改善への活用を図ることをねらいに、下記要領により「学生による授業アンケート」を実施させていただきたいと思っておりますので、ご理解ご協力くださいますようお願い申し上げます。

記

1 実施目的

本学教員が自分の授業内容および授業方法を改善するために、受講生の声を聞くことを目的として実施します。

2 実施期間

1月4日(月)～2月7日(日)

3 実施する授業

全ての授業科目(全コマ)で実施してください。

※ゼミナールも同一のアンケートで実施

4 実施方法

・学生にはポータルサイトにて、1月4日にアンケートの依頼と入力手順(別添『学生による授業アンケート』回答手順)を送信します。

・最後の授業までに学生に以下の内容を伝えてください。

1月4日(月)～2月7日(日)の間にポータルサイトにある授業評価アンケートに回答してください。

5 アンケート集計結果による自己点検報告書の提出

アンケートの集計は教務課で行います。後日、その集計結果をお届けしますので、自己点検評価をし、後日配付の「授業アンケートによる自己点検報告書」を提出してください。

問い合わせ先： 教務課

令和2年度 学生による授業アンケート

Q 1	この授業は、授業内容（シラバス）または教員の事前の説明どおりに授業が進められましたか。
	そう思う/少し思う/どちらともいえない/あまり思わない/そう思わない
Q 2	教員の説明は分かりやすかったですか。
	そう思う/少し思う/どちらともいえない/あまり思わない/そう思わない
Q 3	教員の話し方（声の大きさ、話す速さ、メリハリ等）は適切でしたか。
	そう思う/少し思う/どちらともいえない/あまり思わない/そう思わない
Q 4	教員の、黒板、ホワイトボード、教科書、ビデオ、パワーポイントなどの使い方は適切でしたか。
	そう思う/少し思う/どちらともいえない/あまり思わない/そう思わない
Q 5	教員は、質問や発言を促そうとしていましたか。
	そう思う/少し思う/どちらともいえない/あまり思わない/そう思わない
Q 6	教員は、学生の発言や質問に適切に対応していましたか。
	そう思う/少し思う/どちらともいえない/あまり思わない/そう思わない
Q 7	教員は、授業にふさわしくない学生の行動等に適切に対応していましたか。
	そう思う/少し思う/どちらともいえない/あまり思わない/そう思わない
Q 8	教員は、受講者の理解度を確認しながら進めていましたか。
	そう思う/少し思う/どちらともいえない/あまり思わない/そう思わない
Q 9	教員に、授業への熱意が感じられましたか。
	そう思う/少し思う/どちらともいえない/あまり思わない/そう思わない
Q 10	あなたは、授業内容（シラバス）を事前に読んでよく理解した上で授業に臨みましたか。
	そう思う/少し思う/どちらともいえない/あまり思わない/そう思わない

令和2年度 学生による授業アンケート

Q11	あなたは、シラバスに記載されている「授業の到達目標」を意識して、この授業を受講していましたか。
	意識して受講した/意識しないで受講した
Q12	あなたは、この授業に積極的に参加しましたか。
	そう思う/少し思う/どちらともいえない/あまり思わない/そう思わない
Q13	あなたは、この授業1回（90分）のための予習・復習に費やした時間は1週間あたり平均でどれくらいでしたか。
	4時間以上/3時間/2時間/1時間/30分以下
Q14	あなたは、授業中のマナー（私語、居眠り、携帯電話、途中入退室等）を守ることができましたか。
	そう思う/少し思う/どちらともいえない/あまり思わない/そう思わない
Q15	この授業は全体として満足できるものでしたか。
	そう思う/少し思う/どちらともいえない/あまり思わない/そう思わない
Q16	あなたは、この授業により知的に触発され、さらに深く勉強したくなりましたか。
	そう思う/少し思う/どちらともいえない/あまり思わない/そう思わない
Q17	あなたは、この「授業の到達目標」を達成することができましたか。
	そう思う/少し思う/どちらともいえない/あまり思わない/そう思わない
Q18	この授業の遠隔・非対面授業について、良いと思った点や改善した方がよいと思った点について記述してください。
	自由記述

令和2年度 学生による授業アンケート

Q19	<p>【大学】この授業は次に掲げる「卒業時の達成目標」に役立ちましたか？a) DP I：現代人としての教養と豊かなコミュニケーション能力を獲得している。</p>
	<p>【幼教】この授業は次に掲げる「卒業時の達成目標」に役立ちましたか？DP I：（人間力）1. 社会で通用する教養と、自ら考え学び続ける態度を獲得している。2. 保育者として他者への共感力と、学びで得た豊かな表現力、コミュニケーション力を獲得している。</p>
	<p>【現ビ】この授業は次に掲げる「卒業時の達成目標」に役立ちましたか？DP I：人間力 1. 人として正しい生活を営むための基本的な教養と社会科学の知識を獲得している。2. 職場において自らの役割を適切に判断し、優れたチームワークを発揮して成果へと繋げる能力を獲得している。</p>
	<p>そう思う/少し思う/どちらともいえない/あまり思わない/そう思わない</p>
Q20	<p>【大学】この授業は次に掲げる「卒業時の達成目標」に役立ちましたか？b) DP II：専門職としての確かな知識・技能を持ち、教育・保育現場の現代的ニーズに対応しうる教諭・保育者の資質を獲得している。</p>
	<p>【幼教】この授業は次に掲げる「卒業時の達成目標」に役立ちましたか？DP II：（専門力）1. 保育の専門的知識・技能を獲得し、子どもの「願い」や「夢中」を引き出す感性や表現力を獲得している。2. 保育者としての社会的使命、責任を理解している。</p>
	<p>【現ビ】この授業は次に掲げる「卒業時の達成目標」に役立ちましたか？DP II：専門力 1. 企業や病院等の実務に必要な基礎知識と技術を習得している。2. 職場および社会の環境変化に主体的に対応できる柔軟性を持ち、幅広い分野で活躍出来る能力を獲得している。</p>
	<p>そう思う/少し思う/どちらともいえない/あまり思わない/そう思わない</p>
Q21	<p>【大学】この授業は次に掲げる「卒業時の達成目標」に役立ちましたか？c) DP III：自律的学習態度・課題探求能力を修得している。</p>
	<p>【幼教】この授業は次に掲げる「卒業時の達成目標」に役立ちましたか？DP III：（地域貢献力）現代社会の保育ニーズの把握に努め、自身の持ちうる能力を発揮することで、多様な環境に対応できる力を獲得している。</p>
	<p>【現ビ】この授業は次に掲げる「卒業時の達成目標」に役立ちましたか？DP III：地域貢献力 1. 経済社会および企業社会の経営知識を習得している。2. 職場や地域社会において課題を発見し、解決へと導く能力を獲得している。3. 正しい勤労観と社会への意欲的な参画意識を獲得している。</p>
	<p>そう思う/少し思う/どちらともいえない/あまり思わない/そう思わない</p>
Q22	<p>【大学】この授業は次に掲げる「卒業時の達成目標」に役立ちましたか？d) DP IV：教育・保育分野の実践知を修得し、社会や地域への貢献力を獲得している。</p>
	<p>そう思う/少し思う/どちらともいえない/あまり思わない/そう思わない</p>

授業アンケート実施一覧

2020年度 岡崎女子大学・岡崎女子短期大学 後期授業時間割表

曜日	学年	1 (9:00~10:30)		2 (10:40~12:10)		3 (13:10~14:40)		4 (14:50~16:20)		5 (16:30~18:00)		
		科目	教室	担当	科目	教室	担当	科目	教室	担当	科目	教室
2月	2	※		岡本伸	コミュニケーション演習		情報処理Ⅱ	花田	2601	田島	表現技術演習(造形)Ⅰ	3101
		保育内容の指導法(人間関係)	7302	水野恭	情報処理Ⅱ	2601	岡本伸	コミュニケーション演習	小体7301	石川博	子どもと環境	7303
2月	2	S	英語Ⅳ	小宮	保育の計画と評価	水野恭	教育方法論	平山	2301	小池	比較文化論	2304
		T										メディアと倫理
2月	3	S	オーラル・イングリッシュⅡ	Lowe	教育経営論	中村	教科教育法(図画工作)	石川博	3101	中村	専門ゼミナールⅡ	2505
		T	※(長期フェイワード実習)		※(長期フェイワード実習)		※(長期フェイワード実習)					※(長期フェイワード実習)
2月	3	A	※		基礎音楽Ⅱ	平尾市川原田裕	ピアノ室	仲田林尚	62123201	浅田	教育原	2501
		B	遊びと造形	本田	乳児保育Ⅱ	河合	2202	教育原	2501	仲田林尚	子ども家庭支援の心理学	62123201
2月	3	C	乳児保育Ⅱ	河合	遊びと造形	本田	3102	教育原	2501	浅田	子ども家庭支援の心理学	62123201
		A	子育て支援	福田	子どもの健康と安全	中島	7204	子どもの食と栄養Ⅱ	水野洋	25077201	※	
2月	3	B	子どもと表現(音楽)	平尾原田裕	保育内容の指導法(環境)	小原幹	2203	子どもの健康と安全	中島	7204	※	
		C	子どもの健康と安全	一ノ尾	子育て支援	福田	2204	保育内容の指導法(環境)	小原幹	2203	※	
2月	3	D	※		子どもの食と栄養Ⅱ	水野洋	25077201	子どもと表現(音楽)	平尾藤原	ピアノ室	子どもの健康と安全	7204
		E	乳児保育Ⅱ	甲村	幼児理解の理論と方法	小原倫	2305					
2月	3	G	幼児理解の理論と方法	小原倫	乳児保育Ⅱ	甲村	2304					
		E	保育実習指導Ⅰ(施設)	築山	子どもの保健	一ノ尾	3201					
2月	3	G	保育実習指導Ⅰ(施設)	仲田	2503							
		E	健康とスポーツ(講義)	真木	2201							
2月	3	G			教育方法論	平山	2301					
		M	教的処理Ⅱ	市原	2501	スポーツ実技Ⅰ	真木	大体	2603	萩田	キャリアデザインⅡ	2201
2月	3	P			介護報酬請求論	黒野	2302					
		M	診療報酬資格講座	黒野	2302							
2月	3	P										
		M										
2月	3	M										
		P										

授業アンケート実施一覧

2020年度 岡崎女子大学・岡崎女子短期大学 後期授業時間割表

曜日	学年	1 (9:00~10:30)		2 (10:40~12:10)		3 (13:10~14:40)		4 (14:50~16:20)		5 (16:30~18:00)				
		科目	担当	教室	科目	担当	教室	科目	担当	教室	科目	担当	教室	
2月	2	S	子どもと音楽Ⅱ	岸本 麗	7301	乳児保育Ⅱ	岸本 麗	2301	社会福祉論	権	2301	教育学概論	中村	2301
		T	※		原田悦	ピアノ室	子ども家庭支援論	浅田	2301	図画工作	石川博	3101	保育実習指導Ⅰa	岸本
2月	3	S	家庭	原田悦	7204	子育て支援Ⅱ	小原倫 酒井玲	7301	保育実習指導Ⅱ	水野恭	2304	保育実習指導Ⅱ	岸本	7303
		T	教科教育法(体育)	春日	大体 7301	子育て支援Ⅱ	原田悦	7204	保育実習指導Ⅱ(幼)	岸本	2305 3202	2305	教科教育法(算数)	蜂須賀渉
2月	4	S	※			教職実践演習(小)	蜂須賀渉 宮腰 中村	7302	教職実践演習(小)	蜂須賀渉 宮腰 中村	7302	※	※	
		T	※			教職実践演習(小)	池	2503	遊びと造形	本田	3102	※	※	
2月	5	A	※			外国語コミュニケーションⅠ	池	2503	発達と教育の心理学	丸山 野田	2201 2501	情報基礎演習Ⅱ	花田	2601
		B	外国語コミュニケーションⅠ	池	2503	保育表現演習	丸山	2304	発達と教育の心理学	丸山	2201	※	※	
2月	6	C	※			情報基礎演習Ⅱ	花田	2601	外国語コミュニケーションⅠ	竹内	2502	カリキュラム論	野田	2501
		A	※			健康とスポーツ(実技)	山田悠	大体 小体	障書児保育	梅下	2202	子どもと表現(音楽)	滝沢 妹尾	ピアノ室
2月	7	B	※			子育て支援	李	2305	保育内容の指導法(人間関係)	伊藤理	2203	健康とスポーツ(実技)	山田悠	大体 小体
		C	※			障書児保育	梅下	2202	子どもと表現(音楽)	滝沢 妹尾	ピアノ室	健康とスポーツ(講義)	春日	3201
2月	8	D	※			保育内容の指導法(環境)	野田	2204	子育て支援	李	2305	健康とスポーツ(講義)	春日	3201
		E	遊びと造形	横田	3101	カリキュラム論	渡部	2201						
2月	9	G	(クラス指導)	(浅田)										
		E	保育実習指導Ⅰ(保育所)	小原幹	2501	障書児保育	白垣	2203						
2月	10	G	障書児保育	梅下	2202	保育実習指導Ⅰ(保育所)	小原幹	2501						
		E	くらしと経済	岡本純	2301	※								
2月	11	G				社会的養護内容	伊藤理	2302						
		M	※			ホスピタリティ・イングリッシュ	竹内	2502	経営実務演習Ⅰ	祝田 高塚	6202 6203	※	※	
2月	12	P	※			調剤報請請求論	石川澄	2504	※					
		M	医療コンピュータ演習	石川澄	2601	医療コンピュータ演習	石川澄	2601	モバイルビジネス論	市原	2603	※	※	
2月	13	P	※											
		P	※											

授業アンケート実施一覧

2020年度 岡崎女子大学・岡崎女子短期大学 後期授業時間割表

曜日	学年	1 (9:00~10:30)		2 (10:40~12:10)		3 (13:10~14:40)		4 (14:50~16:20)		5 (16:30~18:00)	
		科目	担当	教室	科目	担当	教室	科目	担当	教室	科目
2月6日	2年	S	地域貢献とボランティア	梅須真 中村	7302	※	7302	韓国語 II	金	2304	※
		T	※					※			※
2月7日	2年	S	数学の基礎	吉見	7301	スポーツ健康科学	春日	6212			※
		T	※					※			※
2月8日	2年	S	専門ゼミナール II	森野 白福 小原 幸村 藤原 真由 花田 幸恵 高野 水穂	2504 2507 2501 2508 6202 3325 3402A 3402B	教科教育法(理科)	田島	7204			※
		T	※								※
2月9日	2年	S	※			専門ゼミナール IV	藤原 水穂 白福 小原 岸本 北津 花田 幸恵	2504 2506 2507 2505 3302A 2433 6202 3325B			※
		T	※								※
2月10日	2年	A	幼児理解の理論と方法	西川	2204	乳児保育 II	鈴木方	2203			※
		B	基礎音楽 II	小野 嶋田 妹尾	ピアノ室	幼児理解の理論と方法	西川	2204			※
2月11日	2年	C	保育実習指導 I (施設)	仲田	2301	基礎音楽 II	小野 嶋田 妹尾	ピアノ室			※
		A	※								※
2月12日	2年	B	※			子どもの研究 II	梅下 純太郎 山下 夏穂 野田 洋児 山田 悠輔 渡部 穂井 伊藤 理 小原 純 本田	2201 2502 2501 2309 2503 2418 小体 3101 3201 3301 3303 3401 3102			※
		C	※								※
2月13日	2年	D	障害児保育	梅下	2201						※
		E	(クラス指導) (平尾)			教育原理	浅田	2301			
2月14日	2年	G	遊びと造形	横田	3101						
		E	社会的養護 II	築山	2501	発達と教育の心理学演習	丸山	2305			
2月15日	2年	G	発達と教育の心理学演習	丸山	2305	社会的養護 II	築山	2501			
		E	子どもの食と栄養 II	湯浅	2202 7201	社会的養護内容	吉村	2302			
2月16日	2年	G	※			子どもの食と栄養 II	湯浅	2202 7201			
		M	簿記原理 II	高塚	2302	情報基礎演習 II	市原	2603			※
2月17日	2年	P				外国語コミュニケーション II	小宮	7303			※
		M	情報処理 II	市原	2603	経営史	祝田	2304			※

授業アンケート実施一覧

2020年度 岡崎女子大学・岡崎女子短期大学 後期授業時間割表

期日	学年	1 (9:00-10:30)		2 (10:40-12:10)		3 (13:10-14:40)		4 (14:50-16:20)		5 (16:30-18:00)			
		科目	担当	教室	科目	担当	教室	科目	担当	教室	科目	担当	教室
1年	S	子ども家庭福祉	吉村	2301	保育内容の指導法(人間関係)	和田	2304	英語 II	宮腰 竹内	7303 2305	※		
	T				英語 II	宮腰 竹内	7303 2305	乳児保育 II	岸本	2203	※		
2年	S	国語(書写を含む)	赤羽根	2305	地域交流	権	2204	表現技術演習(音楽)II	北浦 佐藤 佐部利 西原 雅	7204	子どもの健康と安全	岡田良	7204
	T							子どもの健康と安全	岡田良	7204	表現技術演習(音楽)II	佐藤 佐部利 西原 雅	ピア/室
3年	S	介護等体験指導	仲田	7101 7301	保育実習指導III	吉村	7301	特別活動の指導法	山本	7301	教科教育法(社会)	山本	7301
	T												
4年	S	専門ゼミナールIV	蜂須賀 渉	2505	保育・教職実践演習	大岩 水野 恭	2301 7302	保育・教職実践演習	大岩 水野 恭	2301 7302	レクリエーション	小野 隆	大体
	T												
幼児一部1年	A	保育実習指導I(施設)	築山	2302	子どもと言葉	赤羽根	2502	保育表現演習	梅下	2201	※		
	B	子どもと言葉	鈴木 穂	2204	社会的養護II	築山	2302	日本語表現	鈴木 仁	2501	※		
幼児一部2年	C	保育表現演習	伊藤 理	2502	幼児理解の理論と方法	丸山	2501	子どもと言葉	鈴木 穂	2504	※		
	D	※			児童文学	鈴木 穂	2504	保育内容の指導法(人間関係)	和 田	2304	健康とスポーツ(講義)	春日	2301
幼児二部2年	E	発達と教育の心理学	丸山	2501	社会福祉	仲 田	6212	子どもと言葉	鈴木 穂	2504	※		
	G	保育表現演習	櫻井	2503	子どもと表現(音楽)	滝沢 小野	ピア/室	子どもの食と栄養II	鳥 当	3201 7201	※		
幼児三部2年	E	子どもと表現(音楽)	平尾 滝沢	ピア/室	遊びと運動	山下	大体	健康とスポーツ(実技)	山 下	大体	※		
	G	外国語コミュニケーションII	船井	2202	保育相談支援	西村	2203	保育内容の指導法(人間関係)	伊藤 理	2502	※		
幼児三部3年	E	外国語コミュニケーションII	西村	2203	外国語コミュニケーションII	船井	2202	保育相談支援	伊藤 理	2502	※		
	G	保育相談支援	西村	2203									
幼児三ホス1年	M	外国語コミュニケーションII	小宮	7303	秘書実務論	山田 千	6201	専門ゼミナールI	市原 祝田 黒野	6202 2603 2507	ユニバーサルデザイン	西元	2601
	P	情報基礎演習II	市原	6202									
幼児三ホス2年	M	経営情報	祝田	2504	専門ゼミナールIII	市原 祝田 黒野	6202 2603 2507	情報サーベイス論	服 部	2302	日本国憲法	三 枝	2201
	P												

授業アンケート実施一覧

2020年度 岡崎女子大学・岡崎女子短期大学 後期授業時間割表

曜日	学年	1 (9:00~10:30)			2 (10:40~12:10)			3 (13:10~14:40)			4 (14:50~16:20)			5 (16:30~18:00)		
		科目	教室	担当	科目	教室	担当	科目	教室	担当	科目	教室	担当	科目	教室	担当
月	1	保育者論	7302	浅田	女性の生き方	2501	林陽	教育と発達心理学II	2304	小原倫	子どもと言葉	2305	赤羽根	基礎力アップ講座		
	2	子どもの食と栄養II	7201 7204	武田	特別支援教育	7301	白垣	子どもと言葉	2305	赤羽根	教育と発達心理学II	2304	小原倫	(基礎力アップ講座)		
火	1	特別支援教育	7301	白垣	子どもの食と栄養II	7201 7204	武田	英	7303	宮腰	相談援助技術	7303	権	(基礎力アップ講座)		
	2	教科教育法(英語)	7303	宮腰	児童文学	7302	赤羽根	音楽VI	ピア/室	北浦 佐部利	教育相談の理論と方法	7301	白垣 大山 佐部利	(基礎力アップ講座)		
水	1	※			専門セミナーIV	2505 2506 2507	権 吉村 小野隆	※			※					
	2	※			社会的養護II	2204	太田	※			※					
木	1	保育実習指導I(施設)	2201	仲田	保育実習指導I(保育所)	2201	櫻井	保育内容の指導法(健康)	2501 大体	渡部 山下	カリキュラム論 発達と教育の心理学	2501 2301	野田 丸山	保育実習指導I(保育所)	2201	
	2	社会的養護II	2204	太田	日本語表現	2305	鈴木仁	保育内容の指導法(環境)	2502	野田	※	※		※		
金	1	保育・教職実践演習(幼)	2418 3102 3102	山田悠 藤田 小野	保育・教職実践演習(幼)	2418 3102 3102	山田悠 藤田 小野	障害児保育	2202	櫻井	※	※		※		
	2	教育実習	3303 小体 2301 2302	小体 小体 小体	教育実習	3303 小体 小体	小体 小体 小体	児童文学	2504	鈴木穂	保育内容の指導法(人関係)	2203	伊藤理	※		
土	1	情報基礎演習II	2603	原	基礎音楽II	ピア/室	中川 山内	医療事務総論	2203	黒野	文章表現応用	2201	鈴木仁	簿記検定講座II	2301	
	2	基礎音楽II	ピア/室	香川 大山 山内	情報基礎演習II	2603	原	住空間・インテリアデザイン論	2601	西元	上級簿記II	2302	高塚	※		
日	1	遊びと運動(言葉)	2202	山下	保育内容の指導法(言葉)	2202	鈴木穂	※			※			※		
	2	保育・教職実践演習(幼)	2504 3101 6212	平尾 美沢 山田悠 福田 渡部 小原幹 木田	保育・教職実践演習(幼)	2504 3101 6212	平尾 美沢 山田悠 福田 渡部 小原幹 木田	※			※			※		
月	1	診療報酬請求論II	2304	黒野	診療報酬請求実務I	2304	黒野									
火	1	※			※											
水	1	※			※											

授業アンケート実施一覧

2020年度 岡崎女子大学・岡崎女子短期大学 後期授業時間割表

曜日	学年	1 (9:00~10:30)			2 (10:40~12:10)			3 (13:10~14:40)			4 (14:50~16:20)			5 (16:30~18:00)		
		科目	教室	担当	科目	教室	担当	科目	教室	担当	科目	教室	担当	科目	教室	担当
	子ども1年	※			※			※			※			※		
	子ども2年	※			※			※			※			※		
	子ども3年	※			※			※			※			※		
	子ども4年	※			※			※			※			※		
	幼児一部1年	※			※			※			※			※		
	幼児一部2年	※			※			※			※			※		
	幼児一部3年	※			※			※			※			※		
	幼児一部4年	※			※			※			※			※		
	幼児二部1年	※			※			※			※			※		
	幼児二部2年	※			※			※			※			※		
	幼児二部3年	※			※			※			※			※		
	幼児二部4年	※			※			※			※			※		
	幼児三部1年	※			※			※			※			※		
	幼児三部2年	※			※			※			※			※		
	幼児三部3年	※			※			※			※			※		
	幼児三部4年	※			※			※			※			※		
	幼児四部1年	※			※			※			※			※		
	幼児四部2年	※			※			※			※			※		
	幼児四部3年	※			※			※			※			※		
	幼児四部4年	※			※			※			※			※		
	幼児五部1年	※			※			※			※			※		
	幼児五部2年	※			※			※			※			※		
	幼児五部3年	※			※			※			※			※		
	幼児五部4年	※			※			※			※			※		
	幼児六部1年	※			※			※			※			※		
	幼児六部2年	※			※			※			※			※		
	幼児六部3年	※			※			※			※			※		
	幼児六部4年	※			※			※			※			※		
	幼児七部1年	※			※			※			※			※		
	幼児七部2年	※			※			※			※			※		
	幼児七部3年	※			※			※			※			※		
	幼児七部4年	※			※			※			※			※		
	幼児八部1年	※			※			※			※			※		
	幼児八部2年	※			※			※			※			※		
	幼児八部3年	※			※			※			※			※		
	幼児八部4年	※			※			※			※			※		
	幼児九部1年	※			※			※			※			※		
	幼児九部2年	※			※			※			※			※		
	幼児九部3年	※			※			※			※			※		
	幼児九部4年	※			※			※			※			※		
	幼児十部1年	※			※			※			※			※		
	幼児十部2年	※			※			※			※			※		
	幼児十部3年	※			※			※			※			※		
	幼児十部4年	※			※			※			※			※		

令和2年度後期 学生による授業アンケート集計結果

全体集計（大学全体）		
履修者数	3900名	
回答者数	2819名	
回答率	72.3%	
	設問	平均値
1	この授業は、授業内容（シラバス）または教員の事前の説明どおりに授業が進められましたか。	4.59
2	教員の説明は分かりやすかったですか。	4.58
3	教員の話し方（声の大きさ、話す速さ、メリハリ等）は適切でしたか。	4.64
4	教員の、黒板、ホワイトボード、教科書、ビデオ、パワーポイントなどの使い方は適切でしたか。	4.56
5	教員は、質問や発言を促そうとしていましたか。	4.58
6	教員は、学生の発言や質問に適切に対応していましたか。	4.65
7	教員は、授業にふさわしくない学生の行動等に適切に対応していましたか。	4.54
8	教員は、受講者の理解度を確認しながら進めていましたか。	4.54
9	教員に、授業への熱意が感じられましたか。	4.73
10	あなたは、授業内容（シラバス）を事前に読んでよく理解した上で授業に臨みましたか。	4.26
11	あなたは、シラバスに記載されている「授業の到達目標」を意識して、この授業を受講していましたか。	1.31
12	あなたは、この授業に積極的に参加しましたか。	4.69
13	あなたは、この授業1回（90分）のための予習・復習に費やした時間は1週間あたり平均でどれくらいでしたか。	2.55
14	あなたは、授業中のマナー（私語、居眠り、携帯電話、途中入退室等）を守ることができましたか。	4.70
15	この授業は全体として満足できるものでしたか。	4.61
16	あなたは、この授業により知的に触発され、さらに深く勉強したくなりましたか。	4.52
17	あなたは、この「授業の到達目標」を達成することができましたか。	4.44
18	この授業の遠隔・非対面授業について、良いと思った点や改善した方がよいと思った点について記述してください。	—
19	この授業は次に掲げる「卒業時の達成目標」に役立ちましたか？ a) DPⅠ：現代人としての教養と豊かなコミュニケーション能力を獲得している。	4.43
20	この授業は次に掲げる「卒業時の到達目標」に役立ちましたか？ b) DPⅡ：専門職としての確かな知識・技能を持ち、教育・保育現場の現代的ニーズに対応しうる教諭・保育者の資質を獲得している。	4.51
21	この授業は次に掲げる「卒業時の到達目標」に役立ちましたか？ c) DPⅢ：自律的学習態度・課題探求能力を修得している。	4.46
22	この授業は次に掲げる「卒業時の到達目標」に役立ちましたか？ d) DPⅣ：教育・保育分野の実践知を修得し、社会や地域への貢献力を獲得している。	4.44
	設問全体の平均	4.30

令和2年度後期 学生による授業アンケート集計結果

全体集計（短大全体）		
履修者数 7521名		
回答者数 6317名		
回答率 84.0%		
設問		平均値
1	この授業は、授業内容（シラバス）または教員の事前の説明どおりに授業が進められましたか。	4.53
2	教員の説明は分かりやすかったですか。	4.43
3	教員の話し方（声の大きさ、話す速さ、メリハリ等）は適切でしたか。	4.53
4	教員の、黒板、ホワイトボード、教科書、ビデオ、パワーポイントなどの使い方は適切でしたか。	4.50
5	教員は、質問や発言を促そうとしていましたか。	4.35
6	教員は、学生の発言や質問に適切に対応していましたか。	4.53
7	教員は、授業にふさわしくない学生の行動等に適切に対応していましたか。	4.38
8	教員は、受講者の理解度を確認しながら進めていましたか。	4.38
9	教員に、授業への熱意が感じられましたか。	4.62
10	あなたは、授業内容（シラバス）を事前に読んでよく理解した上で授業に臨みましたか。	4.18
11	あなたは、シラバスに記載されている「授業の到達目標」を意識して、この授業を受講していましたか。	1.27
12	あなたは、この授業に積極的に参加しましたか。	4.57
13	あなたは、この授業1回（90分）のための予習・復習に費やした時間は1週間あたり平均でどれくらいでしたか。	2.19
14	あなたは、授業中のマナー（私語、居眠り、携帯電話、途中入退室等）を守ることができましたか。	4.62
15	この授業は全体として満足できるものでしたか。	4.46
16	あなたは、この授業により知的に触発され、さらに深く勉強したくなりましたか。	4.37
17	あなたは、この「授業の到達目標」を達成することができましたか。	4.26
18	この授業の遠隔・非対面授業について、良いと思った点や改善した方がよいと思った点について記述してください。	—
19	DPⅠ：（人間力）	4.27
20	DPⅡ：（専門力）	4.29
21	DPⅢ：（地域貢献力）	4.22
設問全体の平均		4.15

令和2年度後期 学生による授業アンケート集計結果

全体集計（短大・幼児教育学科第一部）		
履修者数	3984名	
回答者数	3334名	
回答率	83.7%	
	設問	平均値
1	この授業は、授業内容（シラバス）または教員の事前の説明どおりに授業が進められましたか。	4.59
2	教員の説明は分かりやすかったですか。	4.52
3	教員の話し方（声の大きさ、話す速さ、メリハリ等）は適切でしたか。	4.62
4	教員の、黒板、ホワイトボード、教科書、ビデオ、パワーポイントなどの使い方は適切でしたか。	4.58
5	教員は、質問や発言を促そうとしていましたか。	4.46
6	教員は、学生の発言や質問に適切に対応していましたか。	4.60
7	教員は、授業にふさわしくない学生の行動等に適切に対応していましたか。	4.46
8	教員は、受講者の理解度を確認しながら進めていましたか。	4.48
9	教員に、授業への熱意が感じられましたか。	4.71
10	あなたは、授業内容（シラバス）を事前に読んでよく理解した上で授業に臨みましたか。	4.35
11	あなたは、シラバスに記載されている「授業の到達目標」を意識して、この授業を受講していましたか。	1.20
12	あなたは、この授業に積極的に参加しましたか。	4.61
13	あなたは、この授業1回（90分）のための予習・復習に費やした時間は1週間あたり平均でどれくらいでしたか。	2.22
14	あなたは、授業中のマナー（私語、居眠り、携帯電話、途中入退室等）を守ることができましたか。	4.70
15	この授業は全体として満足できるものでしたか。	4.54
16	あなたは、この授業により知的に触発され、さらに深く勉強したくなりましたか。	4.49
17	あなたは、この「授業の到達目標」を達成することができましたか。	4.40
18	この授業の遠隔・非対面授業について、良いと思った点や改善した方がよいと思った点について記述してください。	—
19	DPⅠ：（人間力）1. 社会で通用する教養と、自ら考え学び続ける態度を獲得している。 2. 保育者として他者への共感力と、学びで得た豊かな表現力、コミュニケーション力を獲得している。	4.39
20	DPⅡ：（専門力）1. 保育の専門的知識・技能を獲得し、子どもの「願い」や「夢中」を引き出す感性や表現力を獲得している。2. 保育者としての社会的使命、責任を理解している。	4.40
21	DPⅢ：（地域貢献力）現代社会の保育ニーズの把握に努め、自身の持ちうる能力を発揮することで、多様な環境に対応できる力を獲得している。	4.34
	設問全体の平均	4.23

令和2年度後期 学生による授業アンケート集計結果

全体集計（短大・幼児教育学科第三部）		
履修者数 2485名		
回答者数 2160名		
回答率 86.9%		
	設問	平均値
1	この授業は、授業内容（シラバス）または教員の事前の説明どおりに授業が進められましたか。	4.39
2	教員の説明は分かりやすかったですか。	4.31
3	教員の話し方（声の大きさ、話す速さ、メリハリ等）は適切でしたか。	4.43
4	教員の、黒板、ホワイトボード、教科書、ビデオ、パワーポイントなどの使い方は適切でしたか。	4.34
5	教員は、質問や発言を促そうとしていましたか。	4.25
6	教員は、学生の発言や質問に適切に対応していましたか。	4.39
7	教員は、授業にふさわしくない学生の行動等に適切に対応していましたか。	4.27
8	教員は、受講者の理解度を確認しながら進めていましたか。	4.24
9	教員に、授業への熱意が感じられましたか。	4.49
10	あなたは、授業内容（シラバス）を事前に読んでよく理解した上で授業に臨みましたか。	4.01
11	あなたは、シラバスに記載されている「授業の到達目標」を意識して、この授業を受講していましたか。	1.36
12	あなたは、この授業に積極的に参加しましたか。	4.49
13	あなたは、この授業1回（90分）のための予習・復習に費やした時間は1週間あたり平均でどれくらいでしたか。	2.18
14	あなたは、授業中のマナー（私語、居眠り、携帯電話、途中入退室等）を守ることができましたか。	4.52
15	この授業は全体として満足できるものでしたか。	4.31
16	あなたは、この授業により知的に触発され、さらに深く勉強したくなりましたか。	4.24
17	あなたは、この「授業の到達目標」を達成することができましたか。	4.08
18	この授業の遠隔・非対面授業について、良いと思った点や改善した方がよいと思った点について記述してください。	—
19	DPⅠ：（人間力）1. 社会で通用する教養と、自ら考え学び続ける態度を獲得している。 2. 保育者として他者への共感力と、学びで得た豊かな表現力、コミュニケーション力を獲得している。	4.11
20	DPⅡ：（専門力）1. 保育の専門的知識・技能を獲得し、子どもの「願い」や「夢中」を引き出す感性や表現力を獲得している。2. 保育者としての社会的使命、責任を理解している。	4.15
21	DPⅢ：（地域貢献力）現代社会の保育ニーズの把握に努め、自身の持ちうる能力を発揮することで、多様な環境に対応できる力を獲得している。	4.08
	設問全体の平均	4.03

令和2年度後期 学生による授業アンケート集計結果

全体集計（短大・現代ビジネス学科）		
履修者数 1052名		
回答者数 823名		
回答率 78.2%		
設問		平均値
1	この授業は、授業内容（シラバス）または教員の事前の説明どおりに授業が進められましたか。	4.54
2	教員の説明は分かりやすかったですか。	4.36
3	教員の話し方（声の大きさ、話す速さ、メリハリ等）は適切でしたか。	4.42
4	教員の、黒板、ホワイトボード、教科書、ビデオ、パワーポイントなどの使い方は適切でしたか。	4.49
5	教員は、質問や発言を促そうとしていましたか。	4.23
6	教員は、学生の発言や質問に適切に対応していましたか。	4.55
7	教員は、授業にふさわしくない学生の行動等に適切に対応していましたか。	4.34
8	教員は、受講者の理解度を確認しながら進めていましたか。	4.34
9	教員に、授業への熱意が感じられましたか。	4.58
10	あなたは、授業内容（シラバス）を事前に読んでよく理解した上で授業に臨みましたか。	3.96
11	あなたは、シラバスに記載されている「授業の到達目標」を意識して、この授業を受講していましたか。	1.32
12	あなたは、この授業に積極的に参加しましたか。	4.57
13	あなたは、この授業1回（90分）のための予習・復習に費やした時間は1週間あたり平均でどれくらいでしたか。	2.13
14	あなたは、授業中のマナー（私語、居眠り、携帯電話、途中入退室等）を守ることができましたか。	4.54
15	この授業は全体として満足できるものでしたか。	4.44
16	あなたは、この授業により知的に触発され、さらに深く勉強したくなりましたか。	4.24
17	あなたは、この「授業の到達目標」を達成することができましたか。	4.14
18	この授業の遠隔・非対面授業について、良いと思った点や改善した方がよいと思った点について記述してください。	—
19	DPⅠ：人間力 1. 人として正しい生活を営むための基本的な教養と社会科学の知識を獲得している。2. 職場において自らの役割を適切に判断し、優れたチームワークを発揮して成果へと繋げる能力を獲得している。	4.16
20	DPⅡ：専門力 1. 企業や病院等の実務に必要な基礎知識と技術を習得している。2. 職場および社会の環境変化に主体的に対応できる柔軟性を持ち、幅広い分野で活躍出来る能力を獲得している。	4.23
21	DPⅢ：地域貢献力 1. 経済社会および企業社会の経営知識を習得している。2. 職場や地域社会において課題を発見し、解決へと導く能力を獲得している。3. 正しい勤労観と社会への意欲的な参画意識を獲得している	4.08
設問全体の平均		4.08

令和3年3月1日

授業担当教員 各位

岡崎女子大学・岡崎女子短期大学
FD委員会

授業アンケートの結果報告及び自己点検報告書の提出について

先生方におかれましては、日頃より本学学生の学力向上のためにご尽力いただき、誠にありがとうございます。

さて、ご協力いただきました令和2年度後期授業アンケートの結果をご報告させていただきます（**結果参照の手順は別紙をご確認ください**）。

つきましては、「授業アンケートによる自己点検報告書」を、**3月31日（水）までに教務課へ**ご提出くださいますようお願い申し上げます。

「授業アンケートによる自己点検報告書」の様式は、先生方のアドレスへもメールにて送信しますのでご利用ください。

【授業アンケートによる自己点検報告書】(令和2年度後期)

所属学科		教員氏名	
授業科目名		授業形態	講義 演習 実習 実技 その他
学 年	年	ク ラ ス	
【授業アンケートによる自己点検内容】			
アンケート結果を受けて、①“工夫を試みた点”、今回の授業アンケート結果から、②“優れていた点”および③“改善すべき点”を中心に記入してください。			
対面授業		遠隔授業	
①工夫を試みた点		①工夫を試みた点	
②優れていた点		②優れていた点	
③改善すべき点		③改善すべき点	
総合評価として、当てはまるものに○を付けてください。 あなたは、この授業のシラバスに記載した到達目標を学生に達成させることができましたか。 5できた 4ある程度できた 3どちらともいえない 2あまりできなかった 1できなかった			

4. F D研修会関係

令和2年度は計3回のF D研修会を開催した。

実施日と主な内容や実施した成果を示す資料を次頁以降に掲載する。

なお、各研修会の参加人数は以下の通りであった。

	実施日	参加者			教員参加率
		教員	職員	合計	
第1回	4月15日 ～1月31日	37名	-	37名	86.0%
第2回	9月16日	33名	30名	63名	76.7%
第3回	2月26日	36名	26名	62名	83.7%

*第3回 欠席教員6名→レポート提出

令和2年4月15日

岡崎女子大学・岡崎女子短期大学 教員各位

FD 委員会

第1回 FD 研修会のご案内

平素はFD委員会の活動にご理解賜り、ありがとうございます。FD委員会よりご連絡致します。

新型コロナウイルス対応のため授業開始が延期となり、オンラインでの授業の実施が勧められておりますが、オンラインでの授業と言われても・・・という先生方もいらっしゃるため、第1回FD研修会は下記の通り行うこととなりました。

1. 研修の予定日時 : 令和2年4月15日(水)から随時(令和3年1月末まで)

2. 内容 : 本学花田経子講師が作成した、オンライン授業を行うための動画を視聴しノウハウを学ぶ。受講者はFD委員長宛にメールにてレポートを提出する。
注)メールの件名:【FD研修会】レポート
メールの宛先:junshira@okazaki-u.ac.jp
メールの提出期限:令和3年1末日

3. メールの内容(下記の内容をコピーして本文にペーストして入力して送信してください)

動画を見て新規に学んだこと

動画の感想

動画を見て実際に実践してみたこと(実践してみたいこと)

今後FD研修会に期待する内容

4. テーマ

①対面授業以外の授業展開手法～はじめに(12:31)

<https://web.microsoftstream.com/video/2cdce860-86d6-4e6c-b271-01621c344396>

②対面授業以外の授業展開手法～オフライン教材呈示・課題提出型のやり方(14:25)

<https://web.microsoftstream.com/video/7327e9f1-a445-42ed-92cf-b34657507f68>

③対面授業以外の授業展開手法～自作の動画教材の提供・レポート提出型(15:12)

<https://web.microsoftstream.com/video/a136364d-8b69-4eda-a282-3bfdd6dd72ab>

※合計 42:08 の動画全てをご視聴ください

5. テーマ設定の理由

新型コロナウイルス対策として、対面授業以外の授業展開手法を学び、学生の学修時間を保証するため。

令和2年6月17日

岡崎女子大学・岡崎女子短期大学
教職員各位

FD委員会
大学総務課

令和2年度FD研修会について（ご案内）

平素はFD委員会・大学総務課の活動にご理解賜り、ありがとうございます。
以下のとおり、令和元年度 学長裁量経費による「教育改革活動助成」成果報告会を
FD研修会として開催いたします。

ご多忙とは存じますが、ご参加いただきますようお願い申し上げます。

また、事務職員の方につきましても、可能な範囲でご参加いただければ幸いです。
います。

何卒よろしくようお願い申し上げます。

記

日 時：令和2年9月16日（水）10：40～11：50

場 所：6212 教室

以上

令和2年12月9日

岡崎女子大学・岡崎女子短期大学
教職員各位

FD委員会
SD委員会
学生支援ネットワーク会議

令和2年度 FD・SD合同研修会について（ご案内）

平素はFD委員会・SD委員会・学生支援ネットワーク会議の活動にご理解を賜り、
ありがとうございます。

以下のとおり、FD・SD合同研修会を開催いたします。ご多忙とは存じますが、ご参加
いただきますようお願い申し上げます。

記

1 日 時 : 令和3年2月25日（木） 10:40～12:10

2 場 所 : 6212 教室

3 内 容 : 研修テーマ

「特別な支援を必要とする学生の修学支援の現状と課題」

講師 桜花学園大学 柏倉秀克教授

5. 授業参観関係

関係資料を次頁以降に掲載する。

令和2年6月19日

岡崎女子大学
岡崎女子短期大学 専任教員 各位

岡崎女子大学
岡崎女子短期大学
学長 林 陽子

令和2年度 授業参観の実施について

岡崎女子大学、岡崎女子短期大学では、授業の内容・方法について教職員による情報交換を行い、授業改善に資すること、また、教育内容の充実や教員の教育力向上を目指すことを目的として、授業参観を下記の実施内容のとおり行います。

◆実施内容

(1) 参観

岡崎女子大学・岡崎女子短期大学の全専任教員は年間1回以上、他教員の授業を参観する。ただし、非常勤講師は任意とする。

(2) 授業参観の方法

参観前	<p>○参観する教員（以下：参観者）は、事前に参観を希望する授業の教員に依頼する（方法は口頭、Eメールなど各先生にお任せします）。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業内容（シラバス）に基づき、参観する日時を調整する。 ・授業担当者は授業内容について知らせ、学生に配布する教材や資料を渡し、参観の方法を検討する。
参観日	<p>○授業担当者は、授業を受講している学生に、参観の実施について伝達する。</p> <p>○参観者は対象授業を原則90分間、参観する。</p>
参観後	<p>○参観者は、直ちに「授業参観コメント」を記入し、授業担当者に提出する（メールなど方法は各先生で調整してください）。</p> <p>○授業担当者は、「授業参観コメント」を受け取ったら、その内容を踏まえ、「授業参観コメント」に授業の自己評価を記述する。</p> <p>Wordで記入後、文書を教務課（kyoumu@okazaki.ac.jp）にメールでお送り下さい。</p>

*なお、提出された「授業参観コメント」から、FD研修会において話題提供をいただくことがありますのでよろしくお願ひします。

令和 2 年 9 月 28 日

岡崎女子大学
岡崎女子短期大学 専任教員 各位

岡崎女子大学
岡崎女子短期大学
学 長 林 陽 子

令和 2 年度 授業参観の実施について (変更)

令和 2 年 6 月 19 日付で授業参観の実施についてご案内をしましたが、新型コロナウイルス感染症予防に伴う授業形態の変更により、授業参観を対面授業のみでなく、遠隔授業も可能とし、下記のとおり実施します。

◆実施目的

授業の内容・方法について教職員による情報交換を行い、授業改善に資すること、また、教育内容の充実や教員の教育力向上を目指すことを目的とする。

◆実施内容

(1) 参観

岡崎女子大学・岡崎女子短期大学の全専任教員は年間 1 回以上、他教員の授業を参観する。ただし、非常勤講師は任意とする。

(2) 参観可能な授業

岡崎女子大学・岡崎女子短期大学で実施する対面授業、または遠隔授業
ただし、遠隔授業は下記の条件を満たすこと

- ・参観する授業について、全 15 回の中の位置づけ、その回の展開（実施方法、動画や資料の活用方法、流れ、提出課題に対する学生へのフィードバック方法など）を授業担当者に聞いた上で、動画の視聴や資料の閲覧をすること
- ・紙媒体の資料（教科書やまとめ資料）のみを提示し、課題を提出させる授業の参観は不可

(3) 授業参観の方法

参観前	<ul style="list-style-type: none"> ○【遠隔】遠隔授業の実施日程をシラバスで確認する。 ○【対面・遠隔】参観する教員（以下：参観者）は、事前に参観を希望する授業の教員に依頼する（方法は口頭、Eメールなど各先生にお任せします）。 ○【対面】授業内容（シラバス）に基づき、参観する日時を調整する。 ○【遠隔】実施日程を調整する。 ○【対面・遠隔】授業担当者は授業内容について知らせ、学生に配布する教材や資料を渡し、参観の方法を検討する。 ○【遠隔】遠隔授業は、上記 (2) について、参観者は授業担当者から説明を受ける。
参観日	<ul style="list-style-type: none"> ○【対面】授業担当者は、授業を受講している学生に、参観の実施について伝達する。参観者は対象授業を原則 90 分間、参観する。 ○【遠隔】授業担当者と参観者で調整して実施する。
参観後	<ul style="list-style-type: none"> ○【対面・遠隔】参観者は、直ちに「授業参観コメント」を記入し、授業担当者に提出する（メールなど方法は各先生で調整してください）。 ○【対面・遠隔】授業担当者は、「授業参観コメント」を受け取ったら、その内容を踏まえ、「授業参観コメント」に授業の自己評価を記述する。 Word で記入後、文書を教務課 (kyoumu@okazaki.ac.jp) にメールでお送り下さい。

*なお、提出された「授業参観コメント」から、FD 研修会において話題提供をいただくことがありますのでよろしくお願ひします。

授業担当者=〇〇先生：科目=〇〇：参観者=〇〇

授業参観コメント

下記罫線内と内容が重複しますが、ここも記入お願い致します。ご提出物を教務課で1文書にまとめてから、この行を用いて目次を自動生成します。

記入日：令和〇年〇月〇日

参観者	所属	子ども	幼教	現ビ	氏名	
公開-参観日	月 日 () 限目					
授業科目				授業担当者		

I-1. この授業で印象に残った点について記して下さい。

【参観者記入】

I-2. 授業の「工夫」、「効果」、「課題」などを端的に最大3つ記して下さい。(この3点を網羅する必要はありません)

【参観者記入】

I-3. 授業の特徴を表す Keywords を記して下さい。

【参観者記入：別紙資料参照】

II. 上記コメントを参考に、この授業の自己評価について記して下さい。

【授業担当者記入】

* ご協力ありがとうございました。Word 文書は授業担当者と教務課 (kyoumu@okazaki.ac.jp) にメールでお送り下さい。なお、ご不明な点は、FD 委員会までお問い合わせ下さい。

【別紙資料：キーワード例】

以下は、令和元年度の授業参観コメントからFD委員会で抜き出したキーワードをシフトJISコード順に並び替えたものです。「I-3. 授業の特徴を表すKeywordsを記して下さい。」欄には、ここに記載されているかどうかに関わらず、自由に記述していただいで構いません。ご提出のあった授業参観コメントに基づき、適宜キーワードの追加を行う予定です。

- | | |
|--|--|
| <ul style="list-style-type: none"> ➤ アイスブレイキング・気分転換 ➤ IT活用・機器の操作 ➤ アクティブラーニング ➤ 映像資料の活用 ➤ 応答的な学習 ➤ 外部講師（ゲスト）の役割 ➤ 学習効果の視覚化 ➤ 学生からのフィードバック ➤ 学生との信頼関係 ➤ 学生の達成感 ➤ 教員の高い専門性 ➤ 教材の選択 ➤ 緊張感 ➤ 具体例やモデルの提示 ➤ クリティカルシンキング ➤ グループ活動（話し合い） ➤ 現場で役立つ専門性 ➤ 公平性・積極性 ➤ 個性を伸ばす ➤ コラボレーション ➤ 採用試験対策 | <ul style="list-style-type: none"> ➤ 産官学共同（関係機関との連携） ➤ 参考資料の用意 ➤ 時間配分 ➤ 自己理解と自己覚知 ➤ 質問や意見の言いやすさ ➤ 授業の管理運営 ➤ 授業の明確な方向付け・メッセージ ➤ 事例の提示 ➤ スマートな授業運営（怒らない、怒鳴らない） ➤ 体験的な授業 ➤ 対話による刺激 ➤ チームティーチング（チーム作業） ➤ 知識と技能 ➤ 丁寧な説明・解説 ➤ テクニカルタームの定義 ➤ 幅広い教養 ➤ マナーやルールの遵守 ➤ 学ぶ意欲（モチベーション） ➤ リアクションペーパー ➤ 理論と実践の融合 |
|--|--|

以上

「授業参観」実施結果

	日付	時限		授業科目名	授業形態	参観者	授業担当者
1	6月23日	4	大学	教育実習指導Ⅰ(小)	対面	宮腰	中村
2	6月30日	3	大学	基礎演習	対面	蜂須賀渉	赤羽根・岸本
3	7月9日	3	短大	遊びと運動	対面	春日	山下
4	7月17日	4	短大	保育者論	対面	野田	浅田
5	7月17日	2	大学	保育実習指導Ⅰ	対面	権	吉村
6	7月28日	1	大学	算数	対面	小原倫	蜂須賀渉
7	7月17日	1	大学	保育実習指導Ⅰ	対面	吉村	権
8	7月31日	3	大学	保育実習指導Ⅰb	対面	岸本	吉村
9	8月5日	5	大学	介護等体験「特別授業」	対面	櫻井	蜂須賀渉
10	7月28日	3	短大	保育内容の指導法(言葉)	対面	本田	鈴木穂
11	10月16日	2	大学	児童文学	対面	鈴木穂	赤羽根
12	10月23日	3	大学	英語	対面	中村	宮腰
13	10月29日	1	短大	発達と教育の心理学	対面	鈴木仁	丸山
14	10月15日	3	大学	保育・教育実践演習(幼)	対面	白垣	大岩・水野恭
15	11月9日	3	大学	コミュニケーション演習	対面	小原幹	岡本伸
16	11月30日	3	短大	マーケティング・リサーチ	対面	市原	祝田
17	11月24日	3	短大	遊びと造形	対面	林陽	本田
18	12月1日	4	大学	図画工作	対面	大岩	石川博
19	12月1日	5	大学	教育学概論	対面	林陽	中村
20	12月2日	2	短大	教育原理	対面	林陽	浅田
21	12月1日	2	大学	教職実践演習(小)	対面	石川博	蜂須賀渉・宮腰・中村
22	12月14日	3	大学	教科教育法(図画工作)	対面	本田	石川博
23	12月14日	3	大学	情報処理Ⅱ	対面	岸本	花田
24	12月18日	2	短大	文章表現応用	対面	高塚	鈴木仁
25	12月7日	2	大学	コミュニケーション演習	対面	赤羽根	岡本伸
26	12月24日	3	短大	専門ゼミナールⅠ	対面	西元	市原
27	12月16日		短大	経営史	遠隔	小宮	祝田
28	1月13日	1	短大	幼児理解の理論と方法	対面	伊藤理	西川
29	1月13日	1	短大	遊びと造形	対面	山田悠	横田
30	1月12日	4	短大	健康とスポーツ(実技)	対面	横田	山田悠
31	7月24日	1	短大	保育実習指導Ⅰ(施設)	対面	仲田	吉村
32	1月28日	5	大学	教育実習指導Ⅱ(幼)	対面	北浦	岸本
33	12月23日		短大	経営史	遠隔	黒野	祝田
34	1月23日	1	短大	保育研究	対面	丸山	西川
35	10月21日	2	短大	子どもの研究Ⅱ	対面	水野恭	小原幹
36	1月29日	5	大学	教育実習指導Ⅱ(幼)	対面	祝田	岸本
37	5月7日		短大	遊びと音楽	遠隔	平尾	滝沢
38	1月20日		短大	子どもの研究Ⅱ	遠隔	滝沢	横田
39	7月24日	5	大学	体育	対面	山下	春日
40	11月24日	2	短大	カリキュラム論	対面	浅田	渡部
41	11月13日	3	短大	保育内容の指導法(健康)	対面	渡部	山下

6. ICT利用促進関係

新型コロナウイルス感染症の影響で、遠隔授業を実施したため、ICTを活用した授業についての講習会を開催した。

講習会	実施日	参加者	教員参加率
		教員	
アプリケーションを利用した授業配信等の方法	5月11日 12日	36名	85.7%

FD活動の次年度の課題について

令和2年度FD委員長 白垣 潤

本学は「建学の精神」「大学の理念」「大学の教育目的」に従って、ディプロマ・ポリシーを策定、周知している。ディプロマ・ポリシーをふまえた単位認定基準、卒業認定基準、修了認定基準等の策定、周知及びその厳正な適用については適切になされているといえる。教育課程に関してはディプロマ・ポリシーとの一貫性を保持する形でカリキュラム・ポリシーを策定し、それに沿った体系的な教育課程の編成を行っている。授業内容方法の改善を図るため、授業内容・方法の改善のための体制、教員相互の授業参観、授業評価及び研修会の開催といった組織的な取組を実施している。単位制度の実質を保持する工夫として、CAP制、効果的な履修指導、履修カルテ、学修時間確保の取組を実施している。教養教育に関しては本学の実情に即した展開方法を模索し、FD委員会を中心に教授方法に関する工夫を重ねている。学修成果の点検・評価に関しては、三つのポリシーを踏まえたアセスメント・ポリシーを策定し、全学レベル・学科レベル・科目レベルでのアセスメント項目と目標値を定めて各レベルでの学修達成度の視覚化に努めている。教育目的の達成状況の点検・評価方法の工夫・開発として、IR推進室及びFD委員会が中心となって、間接評価として、学生による授業アンケート（FD委員会）、授業参観（FD委員会）、学生満足度調査（学生支援課）、卒業生アンケート（子ども教育学科）、直接評価として、学修の記録（履修カルテ）（全学科）、ジェネリックスキルテスト（アセスメントテスト）（IR推進室）、統一テスト（学修相談室）を行ない、教育内容・方法及び学修指導等の改善へ向けての評価結果のフィードバックを実施している。

次年度以降は、いよいよ今年度までに精力的に行ってきたIRデータを分析し、教学運営に資するエビデンスが導き出され、本格的にPDCAサイクルが回っていく予定である。具体的には、平成30（2018）年度に発足した本学のIR推進室が、令和元（2019）年度から、関東地区IR研究会（現日本インスティテューショナル・リサーチ協会）が発行した「大学IRスタンダード指標集-教育質保証から財務まで-」を基に学園の全ての部署のデータを収集し、学籍番号で紐付けできるデータベースの構築とそれによる関連要因の検討の準備を行ない、令和2（2020）年度にはデータベースの構築が完了した。入口から出口までのデータが学籍番号で紐付けられたことから、相関係数の導出などを通して関連を探り、相関係数では因果関係までは導出できないものの、どのような要因が学生の資質向上に寄与している可能性があるのかについて検討し、教学マネジメント指針（令和2（2020）年1月22日 大学分科会）にも示されているように、学修者本位の教育という目標に向けてそれぞれの取組を有機的に関連付け、根本的かつ包括的な教育改善につなげていければ望外の喜びである。